



あなたはどうか考えますか？

大軍拡 & 大増税

日本共産党

戦争の心配ないアジアへ
いま必要なのは
対話の外交です

日本共産党の外交ビジョン



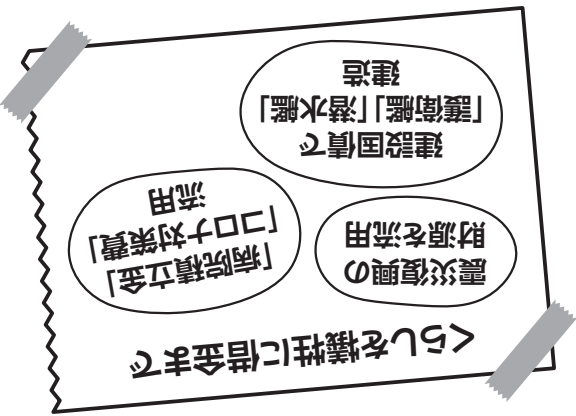
戦争をおこさないための外交に知恵と力をつくす——これこそ政治のやるべきことです。

私たちが注目しているのは、東南アジア諸国連合（ASEAN）です。互いに友好協力条約をむすび、徹底した対話によって、東南アジアを“敵対と分断”から“平和と協力”の地域につくりかえました。

**現にある「平和の枠組み」
＝東アジアサミットを強化して**

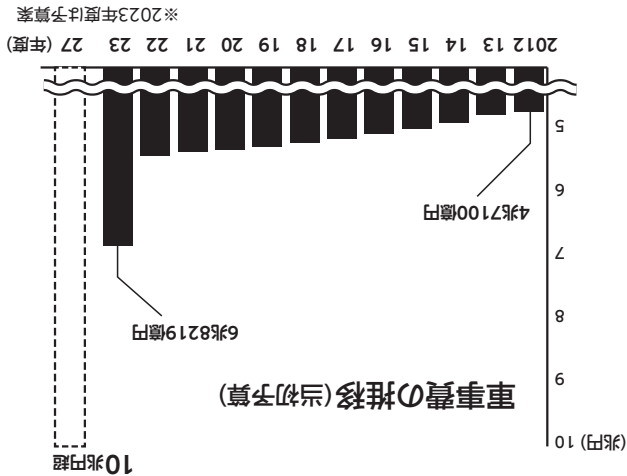
ASEANはいま、米国、中国、日本なども参加した「東アジアサミット」という「平和の枠組み」を強化し、友好協力条約を東アジア規模に拡大しようとしています。ASEANと協力し、東アジアを平和の地域にするために、日本こそ憲法9条を生かした外交を——これが日本共産党の外交ビジョンです。

#勝手に決めるな 民主主義をふみにじるやり方にNO!



軍事栄えて民減ぶ

大軍拡の財源確保へ、今年度予算では社会保障費が1500億円も抑えられ、中小企業対策費も農業予算もマイナス。43兆円の実現にはいつぞう医療、年金、介護が削られ、消費税大増税も必至です。



文教予算の2倍?! 軍事費5年で43兆円

軍事費は、来年度以降に使う「防衛力強化資金」とあわせ、一気に今年度の倍、10兆円超に。5年後には文教予算の2倍以上にも。そんな国が「平和国家」と言えるのでしょうか。



米国製ミサイル 500発を爆買い

政府が2000億円超で“爆買い”するトマホークミサイル。射程1600キロで、イラクやシリアで先制攻撃に使われました。「専守防衛」を建前とする日本には不要な攻撃兵器です。

岸田首相は、昨年暮れに「安全保障3文書」を閣議決定。年明けには訪米し、バイデン米大統領に実行を約束。国民に説明せず、国会にもはからず、安全保障政策を180度転換し、対米公約にするなど民主主義の国では許されません。

国会にもはからず勝手にアメリカと約束

「安保3文書」で「軍事費2倍」「敵基地攻撃」

「専守防衛は変わらない」？

日本が「他国に脅威を与える軍事大国」に

岸田首相は「専守防衛に徹し、他国に脅威を与える軍事大国にはならない」と言いますが、とんでもないゴマカシです。

敵基地攻撃とは全面戦争への道

「専守防衛とは、防衛上の必要からも相手の基地を攻撃することなく…防御を行うこと」（田中角栄首相、1972年10月31日）——「敵基地攻撃能力」保有は、これまでの政府見解を180度大転換。

「首都や通信網も攻撃の対象に、——自民党が昨年4月に出した提言では、「反撃能力の対象範囲は、相手国のミサイル基地に限定されるものではなく、指揮統制機能等も含む」と明記。

「地下に隠されたミサイル基地の位置を把握し、防空レーダーなどを無力化して制空権を確保し、基地を破壊。効果を把握し、さらに攻撃する一連のオペレーション、（岸防衛大臣＝当時、2021年12月17日）

世界第3位の軍事費大国

GDP比2%、年10兆円を超える軍事費となれば、ロシア、イギリス、フランス、ドイツなどを一気に追い抜くことに。「世界に脅威を与える軍事大国」そのものです。

憲法違反はハッキリ

政府は1959年以来、「平生から他国を攻撃し、脅威を与える兵器を保有することは憲法で認められてない」といっかん

して説明してきました。この憲法解釈を紙くずのように投げ捨て、日本を「戦争する国」につくりかえる——岸田政権の「敵基地攻撃能力の保有」は絶対許せません。

軍事費上位10カ国（2021年）

順位	国名	金額(億ドル)
1	アメリカ	8007
2	中国	2934
	日本	10??
3	インド	766
4	イギリス	684
5	ロシア	659
6	フランス	566
7	ドイツ	560
8	サウジアラビア	556
9	日本	541
10	韓国	502

ストックホルム国際平和研究所資料から作成。
中国、サウジアラビアは同研究所の推定値

軍事費が倍増すると

「自分の国を自分で守る」？

米国の戦争に参戦し 報復攻撃で日本が廃墟に

「自分の国を自分で守る」という首相の説明も、まったくのゴマカシです。

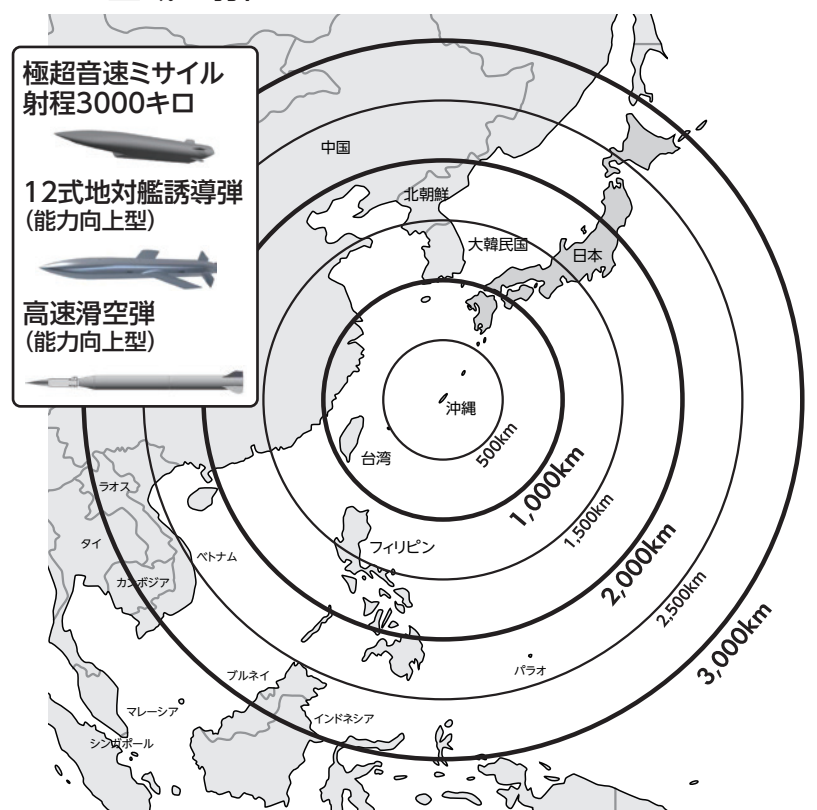
日本が攻撃されていなくても武力行使

「安保3文書」では、日本が攻撃されていなくても、敵基地攻撃能力を使って、アメリカと一緒に相手国を武力攻撃できると明記。事実上の先制攻撃です。相手国の報復攻撃を招き、日本が焦土と化してしまいます。

自衛隊が米軍と「融合」するミサイル防衛

「統合防空ミサイル防衛」（IAMD）で、米軍と同盟国の軍隊は一つのチームに「融合」されます。アメリカが先制攻撃を開始すれば、米軍指揮下で自動的に日本が違法な戦争に参加することになってしまいます。

敵基地攻撃能力で配備予定のミサイル アジア全域を射程に



防衛費43兆円の 賛否が逆転



「読売」調査22年12月→23年1月

「決してあの過ちは繰り返しませんと何十年も言い続けて、その結果がこの政策転換というのはいり得ない」

元自民党総裁
河野洋平さん
TBS系「報道特集」1月7日放送



「戦争の準備をすれば戦争になる確率
が大きい。平和を望むならば、平和を準備した方がいい」

評論家
故加藤周一さん
「九条の会」講演会 2005年11月

